

ようこそゴッドファーザーの世界へ

パレルモ・マッシモ劇場

TEATRO MASSIMO PALERMO

G.プッチーニ

「ラ・ボエーム」

G. PUCCINI "LA BOHÈME"

全4幕
原語上演・
日本語字幕付き

【指揮】
フランチェスコ・イヴァン・チャンパ

【演出】
マリオ・ポンティッジャ



【ミミ】
フランческа・マンゾ



【ドルフォ】
アゼル・ザダ



【ムゼッタ】
ジェシカ・ヌッチョ



【マルチェッロ】
フランチェスコ・ヴルタジヨ

演奏：パレルモ・マッシモ劇場管弦楽団／合唱団

2023年
6月22日(木) 18:30開演

料金 [全席指定・税込]

S席 27,000円 (26,000円) A席 22,000円 (21,000円)

B席 18,000円 (17,000円) C席 15,000円

D席 11,000円 SS席 32,000円 (31,000円)

※未就学児入場不可。 ※当初発表の金額から変更になっております。
※発売初日に限り、C席、D席は1回のご予約・ご購入で合計4枚まで。
※()内はびわ湖ホール友の会会員料金/びわ湖ホールのみ取り扱い。

【主催】コンサート・ドアーズ

【共催】滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 【運営協力】キョードー

【後援】駐日イタリア大使館 【特別協力】イタリア文化会館・大阪

入場券ご購入にあたり、次のことをあらかじめご承知おき下さい。

- ① やむを得ない事情で出演者が変更になる場合がございます。最終的な出演者は当日発表とさせていただきます。
- ② お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更はできません。
- ③ 開演時間に遅れた場合、休憩までご入場をお待ちいただく指定場所でのお待ち見となります。余裕を持ってご来場ください。
- ④ 場内での写真撮影、録音、録画は固くお断りします。
- ⑤ 未就学児のご入場はご遠慮ください。
- ⑥ ネットオークションなどによるチケット販売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。

会場

びわ湖ホール 大ホール

一般発売日

2023年
3月11日(土) 10:00～

びわ湖ホール友の会優先発売日

2023年 3月9日(木) 10:00～

プレイガイド先行発売日*

2023年 2月7日(火) 10:00～

*電話受付はコンサート・ドアーズのみの取り扱い。

〈チケット申込〉

- びわ湖ホールチケットセンター 077-523-7136 (10:00～19:00 火曜日休館・休日の場合翌日。2/20～22休み)
<https://www.biwako-hall.or.jp/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード: 236-708)
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード: 52156) ローソン、ミニストップ
- イープラス <https://eplus.jp/> ● CNプレイガイド 0570-08-9999
- 楽天チケット <https://r-t.jp/>
- コンサート・ドアーズ 03-3544-4577 (平日10:00～18:00) <https://concertdoors.com/>

【お問合せ】キョードーインフォメーション 0570-200-888 (11:00～16:00 日・祝休み)
コンサート・ドアーズ 03-3544-4577 (平日10:00～18:00)



G.プッチーニ 「ラ・ボエーム」

指揮 フランチェスコ・イヴァン・チャンパ
演出 マリオ・ボンティージャ

全4幕

原語上演・日本語字幕付き

旬のキャストが揃いに揃った 青春群像《ラ・ボエーム》の決定版!



貧しいが希望に燃える若き芸術家たちの愛と別れの物語。青春特有の輝きと危うさが描かれ、だれもが等身大で泣き笑いできるオペラといえば《ラ・ボエーム》だ。危なっかしいが可憐なミミと、情熱的な詩人ロドルフォの二人を軸に物語は展開し、肺病に侵されたミミの死で幕を閉じる。

プッチーニの音楽がまた秀逸だ。二人の出会いとはびきり美しいアリアと重唱で飾られる。切なすぎる別れもまた美しく、思い出が次々と蘇った後に訪れるミミの死は、痛いほど心に刺さる。ロマンティックな抒情性の極みというべき旋律が、雄弁な管弦楽をまとうて次々と胸に迫るのだ。しかし、だからこそ、音楽



の力を十全に引き出すすぐれた演奏が欠かせない。

その点で、この公演のキャストは万全である。抒情的な声と表現力に秀で、いま伸び盛りのマンゾがミミを、輝かしい声による流麗な表現が洗練度を増しているザダがロドルフォを歌う。もう一組のカップルも美声と高い音楽性が両立したスッチオをはじめ申し分ない。プッチーニの音楽を知り尽くしたイヴァン・チャンパの指揮と相まって、最高の《ラ・ボエーム》が約束されている。

※舞台写真は、実際の出演者とは異なります。

【キャスト】



【ミミ】フランチェスカ・マンゾ

近い将来のスターと太鼓判を押される純イタリアのリリック・ソプラノ。南伊サレルノで生まれ、同地の音楽院を最優秀の成績で卒業し、ミラノ・スカラ座のアカデミーで研鑽を積んだ。昨年、生地でロッシーニのオペラの主役を歌い絶賛され、兵庫では「ミミ」を歌って大成功。その後、歌唱はさらに磨かれている。



【ムゼッタ】ジェシカ・スッチオ

美しく正確なコロラトゥーラとイタリアらしいカンタービレが両立した若きソプラノ。やわらかい正統的歌唱で、ヨーロッパの主要劇場も次代に成る逸材として彼女を推す。2019年、トリエステ歌劇場日本公演《椿姫》のヴィオレッタ役も絶賛された。当たり役のムゼッタも実にみずみずしい。



【ロドルフォ】アゼル・ザダ

アゼルバイジャンの首都バクーで生まれ、母国の国立歌劇場のソリストを経験後に渡伊。オージモのアカデミーで鍛えられ、エレガントで流麗なフレーズングと、持ち前の輝かしい圧倒的な声を縦横に制御するテクニクを修得した。イタリアを中心に主要歌劇場で引っ張りだこになっている。ハイCも輝かしい。



【マルチェロ】フランチェスコ・ヴァルタジジョ

イタリアの正統的歌唱を習得した若きバリトン。ペーザロのロッシーニ・アカデミーで歌唱を磨き、確かなテクニクでベルカント・オペラを歌いこなす。声を柔軟に操り、若者らしくみずみずしいマルチェロを表現できる。

ヨーロッパ最大級の劇場はオペラの質も最大級に



文明の十字路、パレルモ。フェニキア人が建設し、ローマやビザンティンの統治を経てイスラム教徒の支配下に入り、その後も支配層が目まぐるしく入れ替わった結果、東西南北が融合して独特の豊かな文化が築かれた。その象徴がマッシモ劇場である。

1897年、ヴェルディの《ファルスタッフ》でこけら落としされた劇場は、新古典主義による記念碑的で、荘厳かつ優美な外観を誇る。「マッシモ」とは「最大の」という意味だが、実際、イタリア最大の規模を誇り、ヨーロッパ全体でもウィーン国立歌劇場、ナポリ・オペラ座のガルニエ宮に次いで3番目に大きく、完成までに33年を要した。映画『ゴッドファーザー PartⅢ』にも登場する。

1974年から23年間、修復のため閉鎖されていたが、1998年からは、イタリア国内でもトップクラスの質と内容を誇る公演を重ねている。近年、シチリア島、とりわけパレルモがすぐれた歌手の供給源になったのも、マッシモ劇場があってこそのこと。そして、地元出身の歌手が上演の質をさらに高めるといふ、理想的な循環が生まれている。

【指揮】フランチェスコ・イヴァン・チャンパ

オペラ指揮者として、イタリアをはじめ欧州の主要劇場からの依頼が引きも切らないイヴァン・チャンパ。ナポリ生まれでローマのサンタ・チェチーリア音楽院に学び、イタリア・オペラの流麗な美質を最大限に引き出す。歌い手の呼吸や生理への理解も深く、歌手からの信頼が厚いので、いさよい音楽は深まる。

※キャストの一部が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

作品・劇場・キャスト紹介 オペラ評論家 香原斗志

入場券ご購入にあたり、次のことをあらかじめご承知おき下さい。

- ① やむを得ない事情で出演者が変更になる場合がございます。最終的な出演者は当日発表とさせていただきます。
- ② お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更はできません。
- ③ 開演時間に遅れた場合、休憩までご入場をお待ちいただくか指定場所でのお立ち見となります。余裕を持ってご来場ください。
- ④ 場内での写真撮影、録音、録画は固くお断りします。
- ⑤ 未就学児のご入場はご遠慮ください。
- ⑥ ネットオークションなどによるチケット販売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。